

# 「都」構想反対の輪広がる

「大阪都」構想をめぐり、大阪市を廃止して五つの特別区に分割することの是非を問う住民投票が5月17日に実施される見通しとなり、大阪市解体に反対する団体が市内で大規模な宣伝やイベントを企画、新たな市民グループの結成も相次ぐなど「わが街大阪を守る」の輪が広がりつつあります。

「大阪市つぶし、くらはた対話や学習会を繰り返して破壊の『大阪都』構想してきました。現在は週はやめよ」と先駆的に運動を広げてきたのが、民ラを発行。19日には府民主団体や日本共産党でつ集会(午後7時、エル会)と「明るい民主大阪府政をつくる会」です。1月から「都」構想百書あって一利なし」100力所宣伝などを実施。

10力所宣伝などを実施。ビラ(機関紙)の全戸配布も行ってきました。2月には「都」構想批判の講師養成講座を約240人の参加で成功させ、各地で『大阪都』Q&Aパンフ(№3)を活用し

## 維新に対抗

新たな府民・市民グループも次々と旗を揚げ始めています。維新対抗勢力の結集を

イベント・宣伝・グループ

### 「大阪市なくさんといて！」

# の輪広がる



大阪市廃止に反対する会を結成した市民らと、あいさつする井上市議＝2月20日、大阪市内

6日、竹山修身堺市長ら(雄弁護士)の結成総会を来賓に躍進のつどいを市内で開かれました。

2月20日には、大阪市をなくす「特別区の設置」に反対する市民らでつくる「大阪市のなくなるで！」えらいこっちゃんの会(共同代表・辻公

したり、けん引する役割を果たしていきたい」とあいさつしました。

同会は、大阪市廃止・分割の弊害を明らかにするために、あらゆる個人・市民団体・政党などの連携を深める方針で、市議会での特別区設置協定書議案の採決が見込まれる13日には、午前から市役所前で緊急アピール行動を行う予定です。

## 若者たちも

若者たちも動き始めています。反原発行動などで知り合った若者らが、民主主義と生活を守る有志(Small Axe for Democracy and Life)を結成。市解体の住民投票で賛成が多数となれば、安倍政権の改憲に支持を表明している維新が勢いづく、集団的自衛権の具体化や改憲にもつながるとツイッターなどで警鐘を鳴らしています。8日の学習会を経て14日にデモの予定です。

動画などで充実したホームページを立ち上げたのは、梅田章二弁護士らが関わる「大阪市なくさんといてよ」市民ネットワーク。9日の「スタート集会」では森裕之立命館大学教授が講演し、「都」構想のウソを「徹底バクロ」する予定です。

「政局対立から、議論を重ねて具体化できる正しい改革を目指す大阪へ」を打ち出しています。他にも、21日の「市民大集会」(中央公会堂)など市民グループの企画が目白押しです。複数の団体間で5月に大規模な共同行動を行う相談も進んでいます。